

議会だより

第77号

2014年11月5日

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

ワットサム



見やすく親しまれる誌面づくりの一環として、今号より表紙と裏表紙をカラーにしました

主な内容

9月定例会 こんなことが決まりました ②～③

一般質問に6議員が登壇 ④～⑨

Topic 議会 13

町民インタビュー～聞かせて～ 14

▲パンプキンフェスティバル

発行/北海道和寒町議会
編集/議会広報委員会

構想から4年 デマンドバス本格運行

デマンドバスの 利用方法

- ①専用電話にかけて
(☎32-2525)

住所・氏名・利用日
・利用する便を伝える

- ②自宅付近の道路にバスが来
る時間の連絡がくる

- ③バスが来る時
間に、乗る場
所で待つ



【町営バス運行条例】
(全員賛成可決)
町営バスのデマンド
(予約方式) 本格運行を
開始することに伴い、新
たに整備するものです。
10月1日から開始さ
れ、朝の第1便以外は予
約が必要となります。



町民の足として利便性向上を

9月定例会議会のあらまし

9月定例会議会(第3回定例会)は、平成26年9月18日と19日の2日間で開催しました。
18日は、奥山町長から行政報告が述べられた後に、一般質問を行い、5人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。

19日にも一般質問が行われ、議員1人が質問した後、条例改正や補正予算などの議案審議が行なわれました。更に意見書4本を可決し、閉会しました。

なお、今定例会の傍聴者は延22人でした。

質疑抜粋

Q 幼児が乗車する際に保護者が同乗することと条件とした理由は。

A 安心安全のため、また運転手の目配り等の負担軽減のために添乗をお願いするものの。

Q デマンドバスにしても土日が運休だと本来転倒ではないか。

A おでかけハイヤーを利用いたいただきたい。土日運行の希望があれば検討していく。

その他の条例など

【重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正】
(全員賛成可決)

法改正に伴い関連する文言を整理するもの。

【保育所条例の一部改正】
(全員賛成可決)

法改正に伴い関連する文言を整理するもの。

【北海道市町村職員退職手当組合理約の変更】
(全員賛成可決)

構成団体の変更をするもの。

補正予算

【一般会計補正予算】

(8名賛成可決)

総額で約1億201万円の増額補正を可決しました。主な内容は次のとおりです。

▽社会保障・税番号制度

システム整備事業

社会保障・税番号制度を進めていくうえで、各市町村の個人情報管理システムを改修する必要があることから、その費用を増額。

▽福祉灯油等購入助成事業

町民税非課税の高齢者世帯等に1万円分の助成をするための費用を増額。

▽4号川河川改修工事

豪雨災害から周辺流域の安全確保を図るため、改修区間を延長する工事費として増額。

【簡易水道事業特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

剣淵川改修工事に際して、穂神橋水道管橋梁添架工事費の増額補正を可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

保険事業勘定では介護給付費負担金国庫・支払基金・道返還金等に伴う増額。

サービス事業勘定では、健康苑の送迎車購入と車庫の設置に伴う増額補正を可決しました。

社会保障・

税番号制度ってなに？

各行政機関で管理している個人情報や、個人番号で一元管理すること、今までより利便性を高めようとするもの。

詳細の情報が国から示されていない部分もあります。

人事

【教育委員会委員の任命】

(全員賛成同意)

沓澤昭一氏を任命することに同意しました。

平成26年に初任命され、2期目になります。

(任期4年)



沓澤 昭一 氏

【固定資産評価審査委員会委員の選任】

(全員賛成同意)

長谷川謙一氏を選任することに同意しました。

平成25年に初選任され、2期目になります。

(任期3年)



長谷川 謙一 氏

委員会付託

【平成25年度国民健康保険町立和寒病院事業会計決算認定】

町立病院事業会計に係る決算について、決算審査特別委員会を設置し、付託のうえ閉会中に審査することとしました。

報告

【平成25年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】

和寒町の財政状況は健全である旨の報告がありました。

新エネルギーについて

産業教育常任委員会 所管事務調査報告

調査の経過

事業主体や原料の確保、町民の理解を求める方法など不安要素もあり時期尚早との考えもあるが、検討課題の解消と農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の採択を条件として進めるべきと判断をし、平成24年3月定例会において中間報告を行ったところである。

調査のまとめ

事業運行がされ1年が経過するが、循環型自然エネルギー事業の内容は順調である。

木質チップ生産可能量は800tとなっており、初期の目標に向かって有効活用することが肝要である。また原料の確保には育林が必要ことから和寒町森林組合との協議、連携が重要である。

問 財政力が道内2位の和寒町の町債額は

答 町の実質起債は10億9千万円

問 人口減少問題への取り組みは

答 住宅・子育て・雇用等の充実で



兼丸 昇議員

和寒町の財政力 道内トップクラス

夕張市の財政破綻を機に、実質公債費比率が重要視され、その数字により各自治体の財政力が明らかになってきた。

町債の返済にあたって、地方交付税の中で70%も補填してくれるものがある。基金も必要だが、上手に借入する事が有利になる。

公表された数字では全道1位が泊村、2位が和寒町になっている。財政力によって地方交付税額や起債への影響は。また、実質町債額はいくらか。

奥山町長

財政が潤沢で交付税不交付団体となる場合や、財政が極端に悪化した場合は起債の発行に制限を受けるが、現状では地方交付税の交付や起債の発行に制限

を受けることはないと考えている。

地方交付税の補填を除く実質的な償還残額は平成25年度末で10億9千万円と見込んでいる。

○再質問

和寒町は財政力は豊かだが、町民は本当に幸せな生活が来ていると考えているだろうか。消費税、電気料、食料の高騰、農家も豊作貧乏と、大変な状況だ。

奥山町長

先輩方が努力して培った和寒町と、努力してきた先輩方をどうやって幸せにしていけるか。少子高齢化や人口問題、課題は多いが、住んで良かったと言えるまちづくりに努力する。

○再質問

6月定例会で、来年度からの軽自動車税の引き上げが決まった

が、税増収分165万円しか上がらない。交付税、近隣町村との関係は。

また職員総数151名分の給与総額10億円弱だがその位置付け状況も聞きたい。

広富副町長

交付税や起債の絡みもあり、軽自動車税の引き上げについてはやむを得ない面がある。職員給与は、昔の相対低いまよりは良くなっている状況である。

○再質問

来年は開村100年、財政再建から60年、みんなが努力、辛抱して今日を迎えた。そこで3点の提案をした。①観光も大切であり、旧塩狩温泉の解体処理に町費も導入し、早期に処理すること。②市街地に日帰り温泉構想の議論の早期開始

とパイプラインで塩狩の温泉水を市街地まで移送を。③100年のお祝いと感謝の意から町民1人に1万円を贈る。

奥山町長

塩狩の観光は相手の方と相談折衝していきたい。

今後の温泉は、剣淵・比布町の関わりもあり、町民の皆さんの意見を聞きながら考えていく。

町民1人に1万円の件は、先輩、町民に感謝しながら新たな政策の中でお返ししたい。

人口減少問題の 対策は

和寒町は15歳から64歳の生産年齢人口割合が48・64%で道内ワースト3位。

20歳から39歳の若年女性人口の減少率が2040年には68・1

%となると試算され、上川管内でも、ワースト4位と驚くばかりだ。

2040年には人口も1981人と予測され、今の半分近くになると言われている。

人口の増減で大切なのは、①出生数②死亡数③移動数だという。雇用、医療介護、少子子育て対策は。

奥山町長

和寒町の高齢化率はワーストではなくベストと考えている。

人口減少対策は、定住のため住宅施策の充実、子育ての充実、教育環境の整備、和寒ブランドの発信、商工業支援による雇用の確保、医療介護サービスの維持拡充、災害に強いまちづくりを進める。



中道眞佐義議員



問 農地・農作物を水害から守る対策は 答 「田んぼダム」に取り組む

問 南瓜・キャベツ等特産品のブランド力を生かした企業誘致は 答 可能性を探り受け入れ体制を整える

農地の浸水を防ぐには

8月4～5日にかけて本町は集中豪雨に見舞われ、農地約80㌔が浸水し、残念ながら多くの作物が被害を受けた。

最近の傾向として、短時間の集中的な降雨による急激な増水により下流部の排水が間に合わないという事が起きています。

上流地区での開畑や泥炭地の不等沈下により過去とは排水の流れが変わってきているのが原因だと思つう。

新たな排水対策が必要ではないか。

奥山町長

確かに、近年、限られた地域に大量の雨が降ったり、短時間に激しい雨が降る事が多くなっている。

今回もポンプを設置して排水したが間に合

わす、圃場への浸水があった。

一級河川は改修が進み、大規模な被害の心配は少なくなったが一部改修遅れから水の流れの悪いところがあり、所管の北海道建設管理部には早期に改修するように改めて要望した。

町内においては洪水軽減効果が高いとされる「田んぼダム」に積極的に取り組みたい。

○再質問

今回は水防組合の既設ポンプと合わせ、リース業者から大型水中ポンプを借り入れて排水したが、能率等を考えると、大型ポンプ車等の備えが必要だと思つう。

また、樋門は地先の管理者によって操作されるが、増水中に何度も水位の確認が必要となり、大変な危険が伴う。保険等には加入し

ているか。

奥山町長

大型ポンプ車は非常に高額な物だが能率は高く、借り入れる方法もありそうなので、今後検討していきたい。

菊地建設課長

地先の管理者とは委託契約を結んでおり、その中で、傷害保険には加入するものとなっているので各々が自分で保険に入る事となる。



▲8月の大雨による冠水状況

特産品を生かせる企業誘致を

生産量日本一の南瓜と、他にあまり類のない越冬キャベツは我が町の誇れる特産品だ。

毎年、出荷時期になると、多くの消費者や実需者が高い関心を寄せ、流通業者、加工業者は和寒産を謳い、商品価値を高めているようだ。

いっその事、それら企業を本町に誘致する方法はないか。

奥山町長

過去には企業誘致に積極的に取り組んだ時期があったが、残念ながら様々な事情で撤退を余儀なくされた。

今回の提案は本町の産業と連携した企業誘致という事であり、町の経済活性化、人口減の対策ともなり得る事から詳細な情報の入手に積極的に取り組みた

い。

○再質問

国や道は現在、新たな企業立地促進法の下、過去とは異なる考え方で企業の地方進出を促そうとしているが本町としてはどう対応しているのか。

広富副町長

国の示す農業の6次産業化法あるいは企業立地促進法を今後十分検討し、町としてどのような受け皿を作れるのか研究に努めていきたい。



▲和寒町産キャベツはお好み焼き商品にも使われています。

問 これからの農業政策と 補助事業・支援対策は 答 農業を支える仕組みと 対策について検討していく



石田利美議員

新たな補助事業・支援対策は

和寒町では今までいろいろな補助事業・支援対策が行われており、これからの農業者を元気にするために補助事業・支援対策の見直し、また、新たな補助事業・支援対策の構築は。

奥山町長

これまで町では、堆肥盤設置補助や機械導入、集荷施設建設等に補助事業を展開しており、こうした制度の目的は十分達成できたとして廃止した。

現在、国における経営所得安定対策制度や中山間地域等直接支払交付金のほか、道のパークアップ事業の取り組み、町単独として農地の売買、賃貸への支援、新規就農対策等に支援し、国、道、町それぞれ支援対策を実施

している。

これまで、農業者や関係者の方々と会い、現在の農業に関する課題など直接伺っている。

今後は、和寒町の農業の5年後、10年後を見据え、特産であるキヤベツやカボチャなど守る観点からも、連作障害を防ぐ輪作体系の確立や、土づくりに関する施策など、充実していくことが必要と考えている。

今後も、直接現場に足を運び、農業者の方々の意見を伺い、これからの農業を支えるために必要な施策を検討していく。



▲暗渠排水の工事

今後の農業振興対策協議会の在りかたは

農業振興対策協議会では、農業の関係機関と協議、また、打ち合わせ、報告などが行われているが、これからの和寒町の農業を考えたときもつと前向きな、議論、協議をしては。

横枕産業振興課長

各生産団体の代表の方たち、町の関係の方で委員会を構成し、年間4回から5回の会議を開催している。

年度始めにその年の町の補助制度の説明、中山間制度の説明等をしている。

中間で転作の確認、生産調整の確認事務だとか、年末にその年の中間報告、そして年度末に最終的な報告を毎年行っている。

奥山町長

農業振興対策協議会は農業関係者が一堂に集まる場なので活発化し有効活用していく。

軽油の支援事業は

今年の4月から消費税が上がり、また、油製品、資材等も上がっている。

軽油の店頭価格は昨年の7月が136円で、今年の6月は155円である。

農家は農地の面積で申請し免税されるが、11ヶ月で19円の値上がりで経費が増えている。

軽油は、農家の耕作面積で申請し、使用量は各スタンドで確認でき、公平なので、軽油の支援事業としては。

広富副町長

原油の高騰については、農家の方は大変苦

労していると思う。

燃料は、農家だけでなく他の商売、一般家庭などもあるので研究していきたい。

奥山町長

輪作体系なども含めて、農業を支える仕組みなど対策について検討していく。

免税軽油とは？

軽油の購入に対して32・1円の軽油引取税がかかります。一定の要件により免除される軽油のことを免税軽油と言います。



▲軽油には税金がかかっています

酒向 勤議員



問 放置された空き家対策は
答 国の動きを注視

問 全国学力・学習調査後は
答 授業改善に反映

問 パークゴルフの位置付けは
答 競技を通じて交流

不安視されているが

人口減少と高齢化により空き家が増え、防犯、防災に悪い影響があるのでは。

条例など制定する自治体も多いが。

奥山町長

総務省が5年毎に実施している「住宅・土地統計調査」によると、平成25年速報値で、全国の空き家数は820万戸、道内でも39万戸と増加している。

本町でも、市街地、農村部とも空き家が増えてきている。

適正に管理されず放置されている廃屋や危険家屋などは、倒壊の心配や景観の阻害、冬期間の除雪など生活環境への影響、さらに防犯、防災上でも問題があると認識している。

上川北部市町村長会

議においても「空き家対策」が議題とされたが、この市町村も有効な対策は無く、苦慮している状況だ。

こうした中、現在国において法整備の動きがあり、次期臨時国会で「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が議論される予定なので、国の動きや他の市町村の取り組みを注視しながら、空き家対策の調査研究に取り組む。

広田住民課長

倒壊した家屋は職員が確認し、1月1日の基準日に固定資産の評価を決定している。

国では、問題のある空き家に対し6分の1の減免規定の撤廃の動きもある。

広富副町長

産業廃棄物の処理、分別が出来てから非常に解体経費の高騰がある。

るので、それらについても反映できるよう今後課題としていく。

学力・学習調査の比較は

過去と比較した状況を踏まえ、学校教育の目標をどこに置くのか。

また、今後教育長の考える対応は。

沓澤教育長

9月1日付けで中学校に結果の分析と今後の取り組み、学校教育の年度の重点目標や学校改善プランの検証と、教職員の学習会を開催し、明日からの授業改善に反映するよう事務連絡をした。

第5次の総合計画の中間見直しが次年度に有るので、状況を踏まえながら目標を設定する。

今年度から3カ年計画で「学び力」を育む。

画で「学び力」を育む。

推進事業がスタートした。

教師力がさらに充実し、子供達の成長に影響力を及ぼすことを期待している。

健康寿命のために

パークゴルフでは地域振興や交流で大きな大会の開催も望まれている。

また、冬場の高齢者の健康づくりは。

また、近隣のパークゴルフの料金が見直されているが。

奥山町長

冬場の健康づくりは月2回の体操教室、公民館事業、総合体育館のウォークラリーを実施している。

自分の体力に合った軽スポーツなどで健康づくりに役立っている。

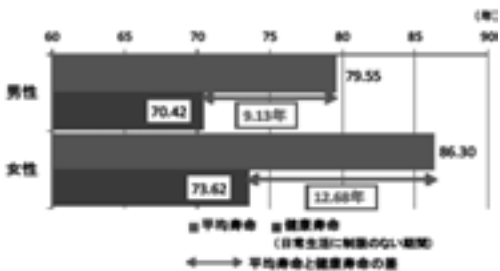
町としても冬期間の

北国ならではのスポーツや野外活動、屋内での健康づくりに取り組めるよう情報や機会の提供に努める。

沓澤教育長

各種大会には町外から参加者があり競技を通じて交流が図られていることは生きがいづくりや、健康づくりからも重要だ。

大きな大会のためのコースの増設など関係者と意見交換し適切な管理運営に向け検討する。



▲平均寿命と健康寿命の差
(出典：健康日本21の推進に関する参考資料)



佐々木広行議員

問 今後の普通交付税の方向は**答** 国で概算要求を取りまとめ中**問 交通事故防止対策は****答** 標識や信号など士別警察署へ要望**問 町長の選挙公約については****答** 具体的な施策になるよう進める普通交付税の
方向は

平成26年度の普通交付税が7月25日発表されたが、本町は1・7%減、金額で3900万円減となったが、減少の大きな要因は何か、また、27年度の予測は。

奥山町長

平成26年度の普通交付税の決定額は21億9千万円で、減額となった。

減額の要因は、地域経済雇用対策費が圧縮されたなどである。

平成27年度の普通交付税は現在のところ、国は各省庁や都道府県の概算要求をとりまとめている段階であり、交付税も含め詳細な情報が伝わってきていないが現状で、判断が難しい状況である。

○再質問

本年度の普通交付の算定の基礎は、今まで通り人口数であり、加算項目のなかで高齢者保護福祉費が対象となっていることから、高齢者の方々には長生をしてもらわなければならない。

また、人口を増やすのは至難な事であり、せめて現状維持対策を講じることが必要ではないか。

奥山町長

交付税の算定は人口がベースとなっており、ことから、高齢者の皆さんが一日でも長く長生きしていただく環境づくりが大事だ。また子供たちを育てやすい環境作りもしなければならぬ。

特に感じていることは住宅事情であり、過去の制度なり、廃屋対策も含め十分に検討していく。

交通事故
防止対策は

最近の車社会をみても自動車事故が多発しているが、これからの季節を考慮すると危険箇所の点検と対策を講じていくことが必要ではないか。

奥山町長

町政懇談会で交差点問題や信号機など交通安全に関しご意見をいただいております。標識や信号など交通規制に関連するものについては士別警察署へ要望している。

選挙公約について

平成26年1月に初当選され7ヶ月が経過されるが、選挙公約時にあった重要課題を提示して選挙に挑んだ。しかし、今日にいたっても具体的な動きが



▲16線2号の交差点

さらに高齢者の方々の足の確保や防災情報ラジオの取り組みなど目標実現に向けて進めている。

町政懇談会の意見を含め、多くの政策課題を十分検討しながら、今後具体的な施策にできるよに検討していく。

みられていないが、これは有権者との契約違反に等しく、これまでの町長の政治的、道義的な責任は重大である。

そこで、早急に27年度に向かつて方向性を示さなければならないのではないかと。

奥山町長

選挙公約について、

町民の皆さんへ夢や希望の持ってもらえるよう少子高齢化を見据えて保健・医療・福祉の充実農業振興を核とし

ながら、商工業の発展と観光の推進、さらには教育・文化・スポーツ環境の充実による子どもたちの健やかな育成と生涯学習の推進をまちづくりの3つの重点目標として掲げて町政執行してきた。

この間、農業団体からの要望、商工会からの要望など早急に対応してきた。

また、「学び力を育む推進事業」として新しく教育長を迎え教育推進体制を整えた。

虻川政義議員



問 基幹産業の農業はどうなる

答 国の動向を注視しながら施策を検討していく

問 全国学力テストの結果の公表は

答 市町村別の公表には同意できない

稲作農家が希望を
持てるように

安倍内閣がいう攻めの農業は、世界で一番企業が活動しやすい国にする路線の一環だと思う。

農業農村の発展や食料の安全安心よりも、内外の企業のビジネスチャンスを増やす政策が出ている。

今年産米は60kgで1万円程度への暴落が心配される。

アメリカなど外国産の米が義務輸入としながら、米価安定のために過剰米処理はしない。

米の生産調整をしている農家への交付金10アール当たり1万5千円は今年から半減にし、2017年産で打ち切り、生産調整は2018年から廃止する。安倍農政は米60kg当たり9600円で作れと言っている。

農水省が発表した

農業物価指数では、

2013年の生産資材は前年比3.4%上昇。

稲作農家が他産業並

みの労賃を得て米作り

をするには、平均で60kg当たり1万6千円が

必要だと言われている。

本町の農業はどうなるのかと心配である。

地域、家族農家の切

り捨て、生産者米価の暴落、コストの半値以下も、との懸念される

中で、国民の主食を作る稲作農家が希望の持

てる状況にない。

これらの現状をどう捉まえ、本町農業をどう

うしよとするのか。

奥山町長

本町では、経営所得安定対策移行後も、国から年間約10億5千万円の交付を受けてきたが、米の直接支払交付金は2分の1の単価となる。

畑作物の直接支払交

付金は単価見直し、産

地交付金の追加配分により地域配分枠が若干

増額となるものの、経

営所得安定対策全体の

交付額は減額となるこ

とが予想される。

本町農業は比較的経

営面積規模が小さいた

め、畑作や野菜を組み

合わせた複合経営とな

っており、経営リスク

を分散しながら工夫し

た経営とはなっている。

しかし、消費税増税

や仕入れ単価の増など

に伴う資材高騰の影響

で経費がかさんでいる

実態もあると認識して

おり、安定的な農業所

得が確保されない状況

も想定される。

まずは農業関係機関

と連携を密にし、安定

的な農業経営に結び付

くよう、国や道に対し

制度の見直しなどを求

めていきたい。

今後、国の農業施策

の動向を十分に見極め

ながら、本町の基幹産

業を守るための必要な

施策を検討していく。

学力テストの結果
公表について

北海道新聞社が全道

179市町村の教育委

員会を対象に行った全

国学力テストに関する

アンケートの結果をま

とめた記事があった。

本町は賛成の区分に

載っていたが。

沓澤教育長

結果の公表について

は、「教育委員会や学

校は、保護者や地域住

民に対し説明責任を果

たすことが重要である

一方、調査により測定

できるのは学力の一部

分であること、学校に

おける教育活動の一側

面であることなどを踏

まえるとともに、序列

化や過度な競争が生じ

ないようにするなど教



行政報告

全般

8月4日から6日にかけて積算雨量が市街地域で111.5ミリ、北原地域で133.5ミリの大雨となり、町内各地で河川の氾濫や農地への冠水など大きな被害がありました。

できるだけ早期に被災箇所への復旧に取り組んでいます。

産業振興

作物生育状況

農作物の生育状況につきましては、水稻をはじめ各作物とも春先の遅れを取り戻し、総じて平年より多くの収穫が見込めるところであります。

担い手・後継者対策

農村生活体験事業については、3名の体験実習生が9戸の受け入れ農家でそれぞれ元気に農作業を体験しています。

担い隊

「わっさお担い隊」については、現在三期生1名（勝村拓至さん）が活動しておりますが、これをサポートする集落支援員に第一期生（中野利樹さん）が就任して、自らの経験を基に様々な相談に応じているところです。



▲左から勝村さん、中野さん

有害鳥獣関係

ヒグマについて、8月中旬から頻繁に目撃情報寄せられており、民家周辺に出没していることから、パトロールの強化と注意喚起に努めているところです。

プレミアム付き商品券

町民の暮らしを応援するとともに町内経済の活性化対策の一環として、20%のプレミアム付商品券「わっさお活活（いきいき）商品券」の販売を9月1日より開始しています。

夏まつり

「どんとこい！わっさお夏まつり」につきましては、初めて「ふれあいのもり」を会場に開催され、家族連れで訪れた方々に喜んでいただけたと考えています。



▲ふれあいのもりで開催

総務

町政懇談会

全自治会12カ所で町政懇談会を開催させていただきました。

様々な要望や町政に対するご意見が寄せられたところですが、できるものから順次取り組み改善を図るとともに、町政運営に反映させたいと考えています。

開村100年

開村100周年記念事業については、平成27年度の事業実施に向け、8名の方に検討委員として就任いただき、あるべき100周年事業の形についてご意見をいただいているところです。

防災情報ラジオ

防災情報ラジオについては、正確な情報をいち早く提供するために、多くの方々に利用されるよう周知を図ります。

保健福祉

健康苑の送迎車

デイサービスセンター「健康苑」の利用者送迎バスは、20年が経過して老朽化が著しく、ワゴン車2台に更新することとしています。



▲送迎用ワゴン車（イメージ）

福祉灯油

今年の灯油の価格動向であります。4月以降、1リットル106円前後の高値で推移しており、本年度も65歳以上の町民税非課税世帯等に対して、福祉灯油等購入助成事業を実施します。

住民

クスサン対策

近年、大型の蛾であるクスサンが街灯に集まることなどにより生活環境の悪化が指摘されており、クスサンの駆除につぎましては、卵や産卵前の成虫の時点で一般ゴミとして処理することが最も有効であるため、町民の皆さまに、住宅周辺における駆除をお願いしているところです。

病院

病院利用実績

患者数の推移について、入院患者数は増加しているものの、外来患者数が減少していることから、医業収益全体では前年度並みとなっています。

教育

町民大運動会

7月6日に開催された第53回町民大運動会は好天に恵まれ、盛会裡に終了することができました。

少年野球

8月2日より熱戦が繰り広げられた全道少年軟式野球大会において、名寄地区代表として出場した和寒野球スポーツ少年団が、準決勝で惜しくも敗れたものの、見事、全道3位の栄冠に輝きました。

子どもたちの頑張りは、多くの町民に元気をくれた明るい話題であります。



▲見事全道3位の野球少年団

次回定例会は
12月18日～19日（予定）です。
議会を傍聴しませんか？

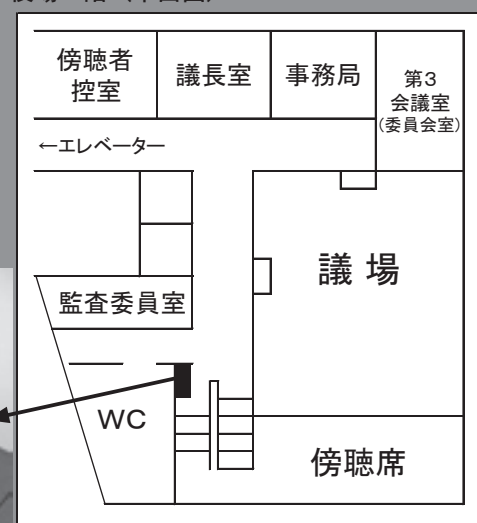
議会の傍聴は、傍聴者受付簿にお名前と住所を記入していただだけで、どなたでも傍聴できます。みなさんのお越しをお待ちしております。

詳しくは
議会事務局へ
☎32-2436



▲受付簿が置いてあります

役場3階（平面図）



みんなの声を国政に

公益に関わる次の4件について、議員から意見書案が提出されました。
第3回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

「手話言語法（仮称）」制定を 求める意見書

提出者 下條美恵
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣 総務大臣 他

（要 旨）

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定することを強く要望する。

2015年度予算（介護・子ども）の 充実・強化を求める意見書

提出者 金谷浩幸
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

（要 旨）

介護保険制度については、地域間格差やサービス低下および福祉労働者の処遇低下を招くことなく、制度の充実をはかるとともに、子ども・子育て支援新制度については、保育の質を改善するために、政府に対策を求めます。（全3項目）

北海道電力の電力料金大幅引き上げの撤回と 国が認可しないことを求める意見書

提出者 虻川政義
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、経済産業大臣 他

（要 旨）

北電は7月31日、家庭向け電気料金の再値上げを経産省に認可申請しましたが、「過度の原発依存」という誤りを、道民に責任転嫁することは許されません。

よって、北海道電力の値上げの撤回、並びに国が値上げを認めないよう強く求めます。

外形標準課税適用拡大など 中小企業向けの増税に反対する意見書

提出者 虻川政義
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、財務大臣 他

（要 旨）

中小企業の経営を守り、国民の雇用を守る立場、さらには日本経済をこれ以上行き詰まらせてはならないという決意で、外形標準課税の導入等、増税に強く反対する。

◆各意見書の詳細についてはホームページ上で公開しています。

<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp> 「トップ画面」⇒「和寒町議会事務局」⇒「議会結果」

Topic 議会

議会広報研修会に参加

8月22日に開催された議会広報研修会に参加してきました。

講師は広報コンサルタントの芳野政明氏。議会広報の役割や読者への見せ方（見出し・レイアウト・企画等）についての講演を受けました。

また、希望をした町村の議会広報誌に対して講習を行う「クリニック」では、和寒町を含む8町がそれぞれの議会広報誌



に対するアドバイスを受けてきました。

今年の作柄は？ 農作物生育状況調査

8月27日に農業委員、JA役員、町理事者など、町内関係機関合同での農作物生育状況調査が行われ、本議会も同行しました。水稲・南瓜・大豆の圃場を視察してきました。

施設や道路など 工事箇所を視察

10月17日に本年度発注した工事の現地調査を行いました。

20箇所をまわり、担当者から各工事の概要を説明してもらいながら、進捗状況等を確認しました。

第5回町議会臨時会

10月17日
開 催

表彰

和寒町表彰式に表彰される方々が決まりました。

（全員賛成可決）

功労章

○酒井 唯夫様（南丘）

○眞鍋 紘一様（西町）

功労表彰

○宮崎 光行様（北原）

○沼館助三郎様（大成）

○藤井 利博様（三和）

○濱田 則彦様（菊野）

○鷺見 孝和様（東丘）

○上口 静男様（西町）

善行表彰

○和寒ライオンズ

クラブ様（西町）

○眞鍋 紘一様（西町）

委員会付託

【平成25年度和寒町各会計歳入歳出決算認定】

一般会計他5特別会計の決算認定については、

9月定例会で設置した決算審査特別委員会に付託され、閉会中に審査することとなりました。

補正予算

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

防災情報ラジオの申込数が予定を上回ったことによる増、道営土地改良事業の事業費変更に伴う地元負担金の増などで、総額約790万円の増額補正を可決しました

【お詫び】

76号9ページ「一般質問」で3段目と4段目の答弁者が逆になっていました。ここに訂正をしてお詫び申し上げます。

～あなたの声をお聞かせください～

議会広報委員会では、議会を傍聴しての感想や議会だよりワットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置しますので、足を運ばれた際にはご協力をお願いいたします。





平成25年7月から鮮魚店「小林商店（まちの魚屋さん）」を開業している小林信幸（のぶゆき）さんに、お話を聞かせてもらいました。

町民インタビュー 聞かせて



🎤 お店を和寒に構えたいきっかけは？

開業する前は旭川の魚屋に勤めていた。60歳を迎えたあとのことを考えると、退職金や定年後の働き口などの不安があった。

個人的に納品先を持っていたから（名寄を中心として居酒屋や寿司屋）この沿線で拠点となる場所を探していたところここになった。ただ、地元に戻ってくるなんて思ってもみなかった。

始めるときは店舗なんて考えてなかった。水回りとかが使えれば良くて、納品だけをしようと思っていたけど、店舗としても使えるし、魚を売ったらどうだっというのが流れ。

店にはスペースもあるから、nidoや塩狩ヒュッテでもやってるイベントみたいなのもいずればやってみたいと思う。

🎤 開業から1年経過して感じることは？

からだ的には慣れてきた。

売り上げがどうかではないけど地域的な部分でおもしろい。高校卒業後2年くらい和寒にいたけど、卒業したばかりのときなんて和寒全体のことなんてわからない。実際、和寒に戻ってきたら浦島太郎の状態で、



▲インタビューにお邪魔した時間帯が夕方だったので、入れ替わりで何人も買い物客がきていました。

広報委員の一言

今年の夏は暑さが厳しかったですが、このごろは朝夕は涼しくなり、ストーブに火を付ける時期になってきました。

この時期になると、必ず出てくる言葉は食欲の秋という言葉です。

高い安いはあるものの、一年中、果物や野菜などは食べられますが、秋は美味しくなる旬の物が多いと思います。

今年も、太陽を一杯浴びて美味しいカボチャ・芋・キャベツ・お米などが沢山とれました。

特に美味しいホクホクした芋・カボチャを毎日適量に食べて冬に向けてカゼ予防に備えましょう。

（利美）